

# 美術科

## I 美術科の学習目標

- (1) 中学段階においては、美術を愛好する心情を育てるとともに、美術の基礎的な能力を伸ばす。
- (2) 高校段階においては、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、個性豊かな表現の能力を伸ばす。
- (3) 6年間を通して、美術に対する感性を豊かにするとともに、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

## II 美術科の6年間の科目構成と学習内容

		「科目」と学習内容	発展的な内容、特色ある活動、関連する行事等
中学段階	1年	A表現 (1) 絵と彫刻など ・鉛筆デッサン ・木彫制作 ・名画の模写制作 (2) デザインと工芸など ・レタリング ・色彩基礎  B鑑賞 ・印象派の作品鑑賞	体験活動 ・美術館、博物館 見学（宿題）  ・芸術鑑賞教室（歌舞伎）
	2年	A表現 (1) 絵と彫刻など ・場面展開するイラスト ・石彫ペーパーウェイト (2) デザインと工芸など ・透視図法による立体的な文字の構成 ・等角投影図法による立体的な色彩構成  B鑑賞 ・美術史（原始～バロック） ・日本の仏像	体験活動 ・都内めぐり、京都・奈良修学旅行
	3年	A表現 (1) 絵と彫刻など ・鉛筆デッサン「静物」 ・木彫制作 ・絵画制作 (2) デザインと工芸など ・日本の伝統工芸品ポスターデザイン  B鑑賞 ・美術史（ロココ～20世紀美術）	日本の伝統文化 ・日本の伝統工芸品調べ学習
高校段階	4年	《美術Ⅰ》【必修選択】 A表現 (1) 絵画 ・鉛筆デッサン (2) 彫刻 ・木彫制作 (3) デザイン ・立体カード制作 ・ポスターデザイン  B鑑賞 ・作家研究 ・日本美術作品鑑賞	
	5年		
	6年	《美術Ⅱ》【自由選択】 ○自由制作 ・デッサン、絵画制作、木彫制作、デザイン構成、鑑賞と論文を選択制で学ぶ。 ・1年間を通じた制作スケジュールを各自で計画し、文化祭、卒業制作として作品を発表、展示する。  * 6年生の自由選択科目は受講希望者数によって変更があり得ます。	

教科名 美術科  
 科目名 **美術**  
 対象 1学年全員

**I 学習到達目標**

- 1 美術への興味・関心を持ち、基礎的な美術表現を身に付ける。
- 2 楽しい美術活動を通して美術を愛好する心情を培う。

**II 授業の進め方（授業形態等）**

- 1 美術室での制作実習を基本とし、座学と実習を組み合わせた授業形態で実施する。
- 2 教員による講義、生徒による能動的な制作実習によって授業を進行する。
- 3 年に数回、制作した作品の鑑賞と美術作品の鑑賞を実施する。

**III 教科書・補助教材**

教科書 開隆堂出版「美術1」  
 補助教材 秀学社「レタリング辞典」、秀学社「美術資料 東京の美術」

**IV 学習計画**

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	4		【オリエンテーション】 ・図画工作から美術へ（ 【レタリング】 ・イメージを伝える形 ・文字のデザイン	1		
	5			レタリング字典 美術資料 東京の美術		13.5
	6					
	6		【色彩基礎】 ・色彩と光	美術資料 東京の美術		2
	7	1学期 期 末 考 査	・1学期期末テスト ・テスト解説 ・鑑賞	1 1 1		
	夏休み 宿 題			【美術館鑑賞レポート】		
二 学 期	9		【鉛筆デッサン】 ・スケッチブックから広がる  【木彫制作】 ・ずっと木といっしょに ・用具を知って使ってみよう	3		
	10			美術資料 東京の美術		15
	11					
	12	2学期 期 末 考 査	・2学期期末テスト ・テスト解説 ・鑑賞	1 1 1		
三 学 期	1		【名画の模写】 ・美術館へ行こう	10		
	2					
	3	3学期 学 年 末 考 査	・学年末テスト ・テスト解説、まとめ	1 1		
				計 52.5 時間		
評 価	以下の点を中心に、定期考査・実技・提出物・授業態度等をもとにして評価する。 1 授業に取り組む姿勢・態度 2 基礎的な知識、技術を身に着けているか 3 表現を楽しんだり、工夫したりすることができたか					

教科名 美術科  
 科目名 **美術**  
 対象 2学年全員

**I 学習到達目標**

- 1 主体的に美術活動に取り組み、美術を愛好する心情を深める。
- 2 発想豊かに制作し、創造的に表現する能力を伸ばす。

**II 授業の進め方（授業形態等）**

- 1 美術室での制作実習を基本とし、座学と実習を組み合わせた授業形態で実施する。
- 2 教員による講義、生徒による能動的な制作実習によって授業を進行する。
- 3 年に数回、制作した作品の鑑賞と美術作品の鑑賞を実施する。

**III 教科書・補助教材**

教科書 開隆堂出版「美術2・3」  
 補助教材 秀学社「レタリング辞典」

**IV 学習計画**

学 期	月	学 習 内 容		授業時数	備考	
		考 査	「教科書」の学習内容			副教材・その他の学習内容
一 学 期	4		<b>【オリエンテーション】</b> ・私たちに身近な美術 <b>【デザイン】</b> ① 透視図法による立体的な文字の構成 ② 等角投影図法による立体的な色彩構成	1		
	5			8		
	6					
	6	1 学期 期 末 考 査	<b>【美術史（ロマネスク〜ルネサンス）】</b> ・ルネサンス、人間の発見 ・美術史の扉  ・1 学期期末テスト ・テスト解説	2		
7	1					
	夏休み 宿 題				<b>【美術館鑑賞レポート】</b>	
二 学 期	9		<b>【石彫ペーパーウェイト】</b> ・つながるデザイン  <b>【美術史（ギリシャ・ローマ、仏像）】</b> ・美術史の扉  ・2 学期期末テスト ・テスト解説	10		
	10					
	11			2		
	12	2 学期 期 末 考 査		1		
三 学 期	1		<b>【絵画制作】</b> ・場面展開するイラスト <b>【美術史（絵巻物・障壁画・江戸のおもちゃ絵）】</b> ・美術史の扉  ・学年末テスト ・テスト解説、まとめ	5		
	2			1		
	3	3 学期 学 年 末 考 査		1		
				35		
評 価	以下の点を中心に、定期考査・実技・提出物・授業態度等をもとにして評価する。 1 授業に取り組む姿勢・態度 2 美術史、色彩論等の基本理解 3 表現を楽しんだり、工夫したりすることができたか 4 美術作品を鑑賞することができたか					

教科名 美術科  
 科目名 美術  
 対象 3学年全員

I 学習到達目標

- 1 積極的に美術活動に取り組み、美術を愛好する心情をさらに深める。
- 2 心豊かな表現の構想を練り、想像力を働かせ、様々な表現方法を使って作品を制作する力を伸ばす。

II 授業の進め方（授業形態等）

- 1 美術室での制作実習を基本とし、座学と実習を組み合わせた授業形態で実施する。
- 2 教員による講義、生徒による能動的な制作実習によって授業を進行する。
- 3 年に数回、制作した作品の鑑賞と美術作品の鑑賞を実施する。

III 教科書・補助教材

教科書 開隆堂出版「美術2・3」  
 補助教材 秀学社「レタリング辞典」

IV 学習計画

学 期	月	学 習 内 容			授業時数	備考
		考 査	「教科書」の学習内容	副教材・その他の学習内容		
一 学 期	春休み 宿 題					
	4		【オリエンテーション】	レタリング辞典	1	
	5		【日本の伝統工芸ポスターデザイン】 ・目にとまる 心にとまる ・伝えたいメッセージ ・日本の伝統色	・日本の伝統工芸品調べ学習	8	
	6		【美術史（ロココ～写実主義）】 ・美術史の扉		2	
	7	1学期 期 末 考 査	・1学期期末テスト ・テスト解説		1 1	
	夏休み 宿 題	宿 題 テスト	・美術館鑑賞レポート			
二 学 期	9		【木彫制作】 ・語る彫刻		10	
	10					
	11		【美術史（印象派～ジャポニスム）】 ・美術史の扉		2	
	12	2学期 期 末 考 査	・2学期期末テスト ・テスト解説		1 1	
三 学 期	1		【風景画制作】 ・私が見つめた風景		5	
	2		【美術史（世紀末美術～20世紀美術）】 ・美術史の扉		1	
	3	3学期 学 年 末 考 査	・学年末テスト ・テスト解説、まとめ		1 1	
					計 35	
評 価	以下の点を中心に、定期考査・実技・提出物・授業態度等をもとにして評価する。 1 授業に取り組む姿勢・態度 2 美術史、色彩論等の基本理解 3 表現を楽しんだり、工夫したりすることができたか 4 美術作品を鑑賞することができたか					